

旭川市保育所児童保育要録

記載のポイント

児童	より姓	〇〇〇〇	性別	現住所	〒000-0000
	氏名	〇〇 〇〇			旭川市〇条〇丁目〇番〇号
	生年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日			
保護者	より姓	〇〇〇〇	現住所	〒000-0000	
	氏名	〇〇 〇〇〇		旭川市〇条〇丁目〇番〇号	
就学先		旭川市立〇〇小学校			
保育所名及び所在地		保育の過程と子どもの育ちに関する事項		最終年度に至るまでの育ちに関する事項	
〇〇保育所 旭川市〇条〇丁目		(最終年度の重点) 下記①参照 年度当初に全体的な計画に基づき長期の見通しとしてきた点を記入します。すなわち、クラスの保育目標を記入します。		下記⑤参照 最終年度の姿に至るまでの入所時から現在までの成長してきた姿と、小学校へとつながる今後の課題を、変化が分かるようにまとめます。保育者がどのような援助をし、子どもがどのように育っているか、その全体像を要領よくまとめ、家庭の事情や配慮が必要な面なども必要に応じて記載します。	
保育期間		(個人の重点) 下記②参照 1年間を振り返って、子どもの指導について特に重視してきた点を記入します。(はじめから定めておく内容ではありません。)			
平成〇〇年〇月〇〇日～ 平成31年3月31日					
ねらい (発達を捉える視点)					
健康	明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。	(保育の展開と子どもの育ち) 下記③参照 最終年度における一人ひとりの子どもの発達の姿の中で、「健康・人間関係・環境・言葉・表現」の「5領域」に関わる子どもの心情・意欲・態度を念頭に置きながら具体的に記載します。 「人間関係と言葉」「環境と表現」のようにそれぞれの領域が重なり合う場面があるので総合的にまとめます。 さらに、子どもの姿を「10の姿」(幼児期の終わりまでに育ってほしい姿)と照らし合わせ「何が育ってきているか」「何を育成してきたか」を分かりやすく小学校へ知らせます。 小学校での指導に役立つようなことは必ず書くようにします。(どのようなことに興味や関心があるのか・活動への取組や意欲・問題があるときの解決のヒントなど)		幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ※各項目の内容等については、別紙に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について」を参照すること。	
	自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。				
健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。					
保育所の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。					
人間関係	身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもち、 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。				
環境	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。				
言葉	自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。				
表現	いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。				
現	生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	(特に配慮すべき事項) 下記④参照 慢性疾患・障害・アレルギー・日常生活を送るに当たって特に配慮が必要な事項			
施設長氏名		担当保育士氏名			

保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行うことをその特性とするものであり、保育所における保育全体を通じて、養護に関するねらい及び内容を踏まえた保育が展開されることを念頭に置き、次の各事項を記入すること。

- 保育の過程と子どもの育ちに関する事項
- ① *最終年度の重点：年度当初に、全体的な計画に基づき長期の見通しとして設定したものを記入すること。
- ② *個人の重点：1年間を振り返って、子どもの指導について特に重視してきた点を記入すること。
- ③ *保育の展開と子どもの育ち：最終年度の1年間の保育における指導の過程と子どもの発達の姿(保育所保育指針第2章「保育の内容」に示された各領域のねらいを視点として、子どもの発達の実情から向上が著しいと思われるもの)を、保育所の生活を通して全体的、総合的に捉えて記入すること。その際、他の子どもとの比較や一定の基準に対する達成度についての評定によって捉えるものではないことに留意すること。あわせて、就学後の指導に必要と考えられる配慮事項等について記入すること。別紙を参照し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用して子どもに育まれている資質・能力を捉え、指導の過程と育ちつつある姿をわかりやすく記入するように留意すること。
- ④ *特に配慮すべき事項：子どもの健康の状況等、就学後の指導において配慮が必要なこととして、特記すべき事項がある場合に記入すること。
- ⑤ ○最終年度に至るまでの育ちに関する事項
子どもの入所時から最終年度に至るまでの育ちに関し、最終年度における保育の過程と子どもの育ちの姿を理解する上で、特に重要と考えられることを記入すること。